

奥能登2市2町へのアクセスルート

1/9 14時00分時点



○国道249号は、余震による新たな被災への対策を含め、**対面通行確保のための緊急復旧**を国と県とで連携して実施

○引き続き、渋滞状況を見ながら、路面段差の解消など、**交通の更なる円滑化に向けた対策を実施**

国道249号 主な被災箇所 (大津交差点～穴水町役場付近)

①小牧 地割れ

近傍の迂回路2本(大型車用、普通車用)を活用して、相互通行を確保

②笠師 倒木

近傍の迂回路を活用して、相互通行を確保

○七尾市(徳田大津)からの所要時間

1/6(7時台発): 穴水町 約2時間	輪島市 約5時間	珠洲市 約5時間
1/7(8時台発): 穴水町 約1時間	輪島市 約3時間	珠洲市 約4時間
1/8(8時台発): 穴水町 約1.5時間	輪島市 約3時間	珠洲市 約4時間
1/9(8時台発): 穴水町 約1時間	輪島市 約2.5時間	珠洲市 約3時間

※1/8は前夜の降雪の影響あり

令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年1月10日 4:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所ですべり、天端クラック等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、103水系523河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する52水系86河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中。石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川についてはTEC-FORCEによる現地調査を実施、応急対策の準備中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷が確認されたため、応急対策を実施中。また、現地調査に先立ち、専門家（国総研）により、計測データやダム管理者が撮影した画像等を基に緊急対応を指導中。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸のうち、石川県の7海岸を除く121海岸で点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）、富来（とぎ）、穴水（あなみず）、根上（ねあがり）、門前（もんぜん）の5海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。



河川の被害状況: 国管理 県管理
 ダムの被害状況: 県管理
 海岸の被害状況: 県管理

<石川県管理ダム>
 北河内（きたかまち）ダム（能登町）
 貯水池周辺斜面の小規模崩落等
 小屋（おや）ダム（珠洲市）
 ダム天端の舗装に一部クラック、
 ダム堤体表面被覆の一部変状等

応急対策実施中
 専門家（国総研）により、
 計測データ等を基に
 緊急対応を指導中

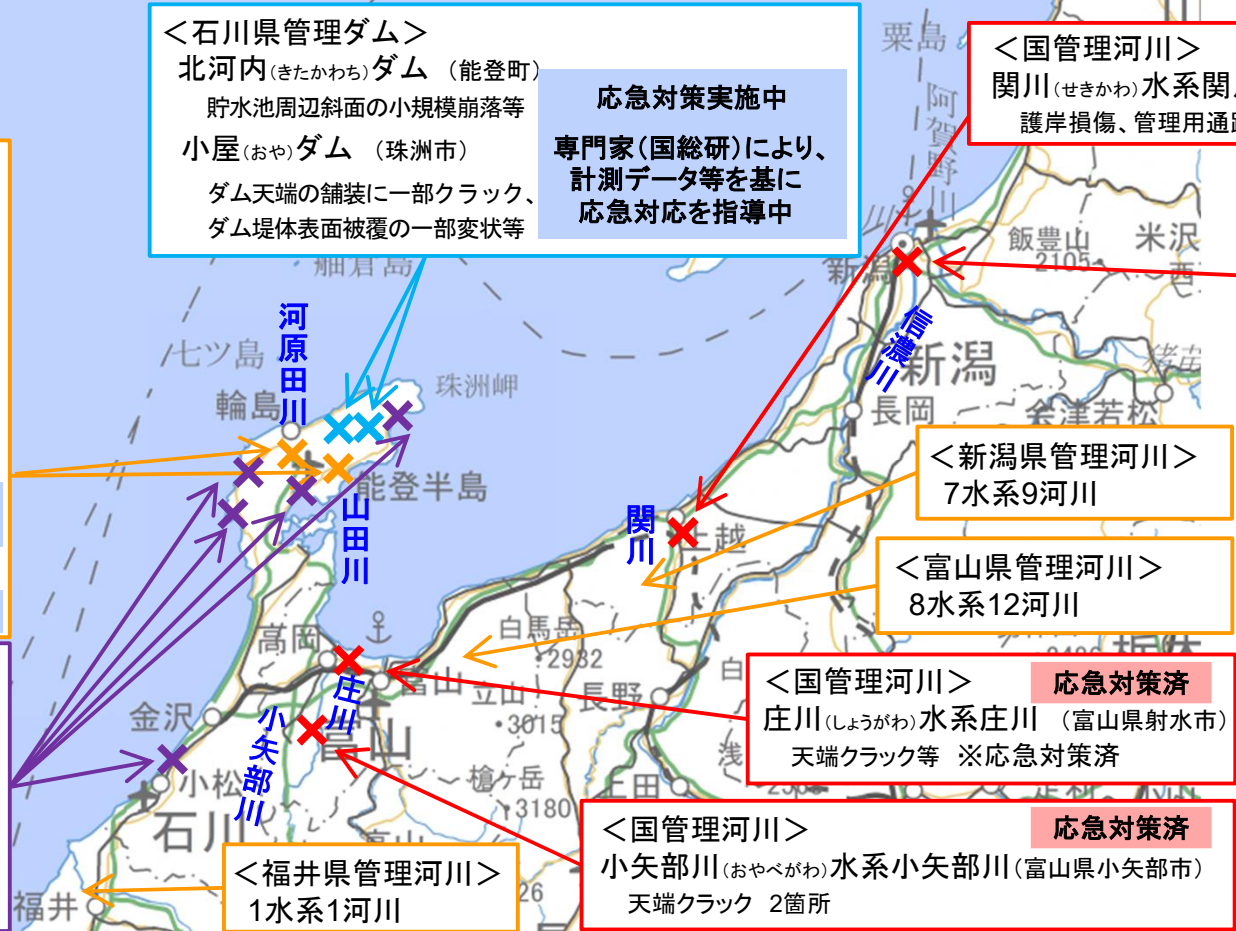
<国管理河川> 応急対策済
 関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

<石川県管理河川>
 36水系64河川

河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）
 河道埋塞 TEC-FORCE 現地調査を実施
 応急対策の準備中

山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）
 河道埋塞 流路確保工事中



<石川県管理海岸>
 5海岸 堤防護岸の損壊等

応急対策の実施
 方法を検討中




<国管理河川>
 信濃川（しなのがわ）水系信濃川
 （新潟県新潟市、長岡市）
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所

応急対策済

令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

59件※1

【被害状況】
 人的被害：死者：25名
 負傷者：2名
 家屋被害：全壊：11戸
 半壊：1戸
 一部損壊：2戸
 (いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

石川県	37件
新潟県	12件
富山県	10件

※1: 都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

①石川県輪島市熊野町



②石川県輪島市市ノ瀬町



③石川県珠洲市仁江町



死者：9名
負傷者：2名



④石川県鳳珠郡穴水町川島



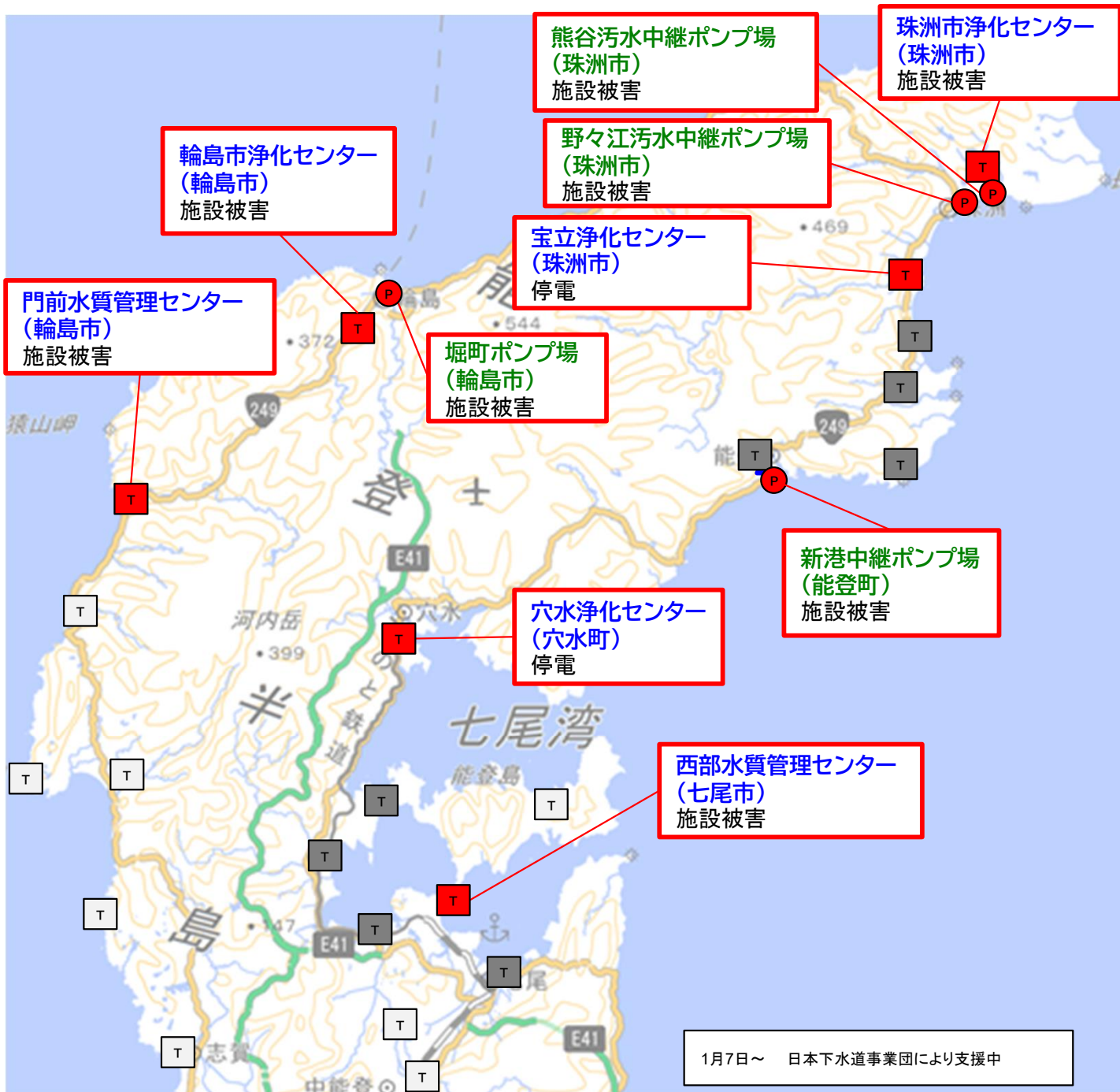
死者：16名



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

令和6年能登半島地震に伴う下水道施設の被害状況(石川県)

令和6年1月10日
5:30時点
国土交通省



▲日本下水道事業団による調査の状況

【凡例】

下水処理場

- T 稼働停止(流入汚水なし) 6箇所
- T 機能確保済
- T 被害なし

ポンプ場

- P 稼働停止(流入汚水なし) 4箇所

令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

○運休区間： 七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)

1月9日より現地調査実施(合計12名)

・鉄道局(TEC-FORCE) 2名、北陸信越運輸局(TEC-FORCE) 3名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間： 高松駅～和倉温泉駅間 高松駅～羽咋駅間は、運転再開には少なくとも2週間以上かかる見込み。

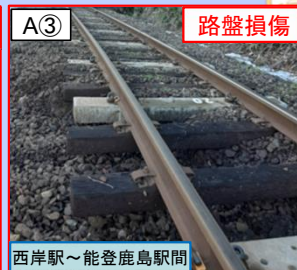
(45.1km)

羽咋駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 JR西日本より発表)

○1月3日以降に再開した路線

- ・JR西日本 七尾線(津幡駅～高松駅間) (3日8時50分頃)
- ・富山地方鉄道 立山線(岩峯寺駅～立山駅間) (3日9時50分頃)
- ・あいの風とやま鉄道(倶利伽羅駅～高岡駅間) (3日12時00分頃)
- ・IRいしかわ鉄道(津幡駅～倶利伽羅駅間) (3日12時20分頃)
- ・JR西日本 高山線(猪谷駅～越中八尾駅間) (3日18時30分頃)
- ・北陸鉄道 浅野川線(全線) (4日始発から)
- ・JR西日本 水見線(高岡駅～水見駅間) (6日始発から)
- ・JR東日本 越後線(越後赤塚駅～関屋駅間) (6日13時頃)
- ・JR西日本 大糸線(南小谷駅～糸魚川駅間) (6日14時40分頃)

【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供

TEC-FORCE、RAIL-FORCEによる被災状況調査



【JR七尾線】

— : 運休区間



※各写真はJR西日本提供

令和6年能登半島地震による能登地域港湾の利用可否状況

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- 支援物資輸送の中核となる水深4.5m以深の16岸壁のうち、9岸壁が利用可能であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。(その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、23施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用可能施設の利便性向上のための応急復旧作業を進める。

輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。
→アクセス経路の拡幅を予定。当面、応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。

・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、水深6mの岸壁として運用。



自衛隊車両の利用状況(5日)

応急復旧の概成状況

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁 × 4

【主な利用条件と対応状況】

・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。
→応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。
→沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。

・アクセス経路にうねりが生じている。
→応急復旧を実施し、9日に作業完了。



完了した応急復旧(9日)

水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工が必要

七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

・液化化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
→応急復旧を準備中。当面、走行できない区域を避けて物資を搬送。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

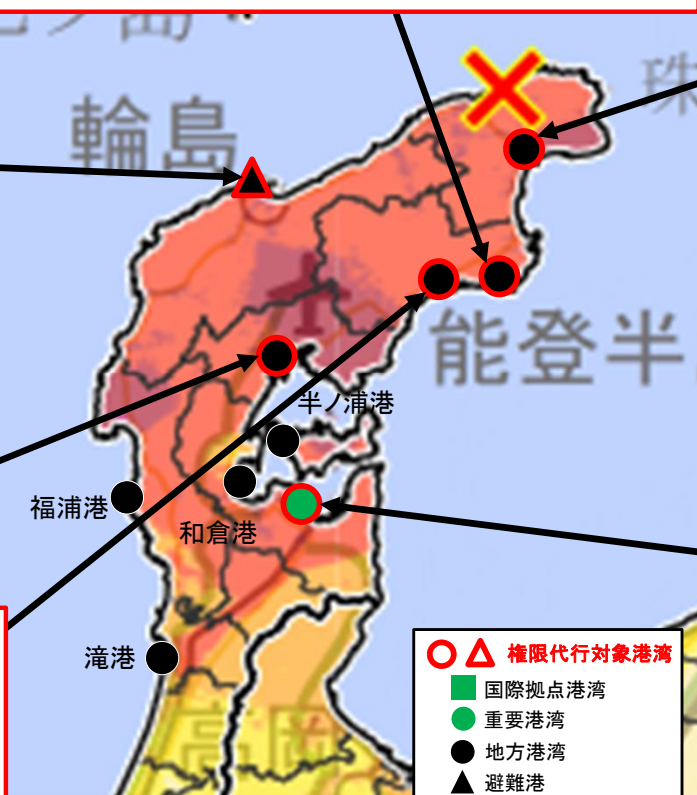
【主な利用条件と対応状況】

・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工が必要

海翔丸の支援物資の積卸し(5日;水深7.5m岸壁)



穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

【主な利用条件と対応状況】

・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
→回復には抜本的な復旧工が必要。当面、注意して運用する。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)
→回復には抜本的な復旧工が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用する。

国土交通省職員の対応状況

総数【493名】

リエゾン 42名
JETT 7名
被災状況調査班等 444名

石川県内(能登半島)【3名】

被災状況調査班(CAR-SAT) 北陸地整 2名
被災状況調査班(CAR-SAT) 中部地整 1名



Car-SAT(能登半島内)



被災状況調査(輪島市)



被災状況調査(輪島市)

※派遣先調整中【14名】

高度技術指導班(水道) 関東地整 4名
高度技術指導班(水道) 近畿地整 2名
高度技術指導班(港湾) 港空研 2名
現地支援班(電源確保) 関東地整 5名
被災状況調査班(応急危険度判定) 近畿地整 3名

志賀町【28名】

リエゾン 北陸地整 1名
リエゾン 北信運輸 1名
被災状況調査班(道路) 関東地整 20名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
高度技術指導班(水道) 中国地整 2名

河道閉塞箇所調査(志賀町)



被災状況調査(志賀町)

現地対策本部【20名】

本部員(リエゾン併任) 本省 15名
本部員(JETT併任) 気象庁 5名

石川県庁【21名】

リエゾン 北陸地整 6名
リエゾン 国土地理院 2名
JETT 気象庁 2名
高度技術指導班(住宅) 本省 1名
高度技術指導班(都市) 本省 1名
高度技術指導班(水道) 北海開発 2名
高度技術指導班(下水) 国総研 1名
高度技術指導班(空港) 大阪航空局 2名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 4名

輪島市【110名】

リエゾン 北陸地整 2名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 8名
被災状況調査班(道路) 中国地整 21名
被災状況調査班(道路) 九州地整 25名
被災状況調査班(砂防) 関東地整 12名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 4名
被災状況調査班(砂防) 中部地整 4名
被災状況調査班(砂防) 近畿地整 20名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 6名
被災状況調査班(港湾) 北陸地整 3名
高度技術指導班(水道) 東北地整 2名
高度技術指導班(道路) 九州地整 1名
高度技術指導班(空港) 国総研 2名



ドローン調査(輪島市)



被災状況調査(珠洲市)



リエゾン活動(珠洲市)



ドローン調査(珠洲市)



能登町【45名】

リエゾン 北陸地整 1名
リエゾン 北信運輸 1名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 2名
被災状況調査班(道路) 中国地整 4名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
被災状況調査班(砂防) 北陸地整 12名
被災状況調査班(砂防) 中国地整 12名
現地支援班(応急給水) 東北地整 4名
高度技術指導班(水道) 四国地整 2名
高度技術指導班(港湾) 港空研 1名



リエゾン(能登町)

穴水町【51名】

リエゾン 北陸地整 1名
被災状況調査班(道路) 東北地整 24名
被災状況調査班(砂防) 関東地整 4名
被災状況調査班(砂防) 中部地整 4名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
被災状況調査班(応急危険度判定) 関東地整 6名
被災状況調査班(応急危険度判定) 北陸地整 3名
被災状況調査班(鉄道) 本省 2名
被災状況調査班(鉄道) 北信運輸 3名

応急危険度判定(穴水町)



飲料水支援(七尾市)



被災状況調査(七尾市)

中能登町【7名】

リエゾン 北陸地整 1名
被災状況調査班(河川) 北陸地整 4名
給水支援班(応急給水) 近畿地整 2名

氷見市【4名】

被災状況調査班(道路) 中部地整 4名

高岡市【4名】

リエゾン 北陸地整 2名
高度技術指導班(都市) 本省 2名

富山市

広報班 関東地整 2名
現地支援班(応急給水) 中国地整 2名
現地支援班(電源確保) 中国地整 2名

新潟市【4名】

被災状況調査班(応急危険度判定) 北陸地整 4名

新潟県庁【1名】

リエゾン 北陸地整 1名

内灘町

内灘町【4名】

被災状況調査班(道路) 中部地整 4名

金沢市

金沢市【12名】

現地支援班(応急給水) 中部地整 2名
応急対策班(照明) 関東地整 2名
応急対策班(照明) 中部地整 2名
応急対策班(道路啓開) 北陸地整 1名
被災状況調査班(道路) 中部地整 3名
被災状況調査班(港湾) 中部地整 2名

富山市【6名】

北陸地方整備局【27名】

先遣班 東北地整 6名
先遣班 関東地整 6名
先遣班 中部地整 4名
先遣班 近畿地整 3名
先遣班 中国地整 4名
先遣班 九州地整 3名
先遣班 国総研 1名

国土交通省の資機材の活動状況 (能登半島)

総数 (能登以外の派遣、派遣移動中も含む)
 災害対策機械等 100台
 (うち、照明車 (電源確保) 6台)

輪島市
 照明車【1/2~ (稼働中)】
 対策本部車【1/6~ (稼働中)】
 待機支援車【1/6~ (稼働中)】
 衛星通信車【1/3~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 照明車 (電源確保)【1/7~ (稼働中)】4台
 海保回転翼機 (物資・人員輸送)【1/2,5】

輪島港
 巡視船 (人員・物資輸送、給水支援)【1/2~5】

珠州市
 散水車 (給水機能付)【1/5~ (稼働中)】
 照明車【1/3~ (待機中)】
 対策本部車【1/5~ (稼働中)】
 待機支援車【1/6~ (稼働中)】
 照明車 (電源確保)【1/6~ (稼働中)】2台
 海保回転翼機 (物資輸送)【1/2】
 測量船 (飯田港 港内調査)【1/5】
 測量船 (蛸島漁港 港内調査)【1/6】

能登町
 照明車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/6~ (稼働中)】
 Ku-sat【1/4~ (活動中)】
 測量船 (小木港・宇出津港 港内調査)【1/7】

穴水町
 衛星通信車【1/4~ (活動中)】
 Ku-sat【1/5~ (稼働中)】
 照明車【1/4~1/7 (稼働終了)】

能登島
 巡視艇 (人員輸送)【1/2】

七尾港
 大型浚渫兼油回収船「海翔丸」 九州地整 1隻【1/5】
 巡視船 (物資輸送、給水支援)【1/3~】

七尾市
 照明車【1/2~ (待機中)】
 排水ポンプ車【1/3~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/6 (稼働終了)】
 Ku-sat【1/5~ (活動中)】
 モバイルトラカン (交通流の把握)【1/5~】

中能登町
 散水車 (給水機能付)【1/3~ (稼働中)】
 照明車【1/5 (稼働終了)】

羽咋市
 照明車【1/4~ (待機中)】

氷見市
 散水車 (給水機能付)【1/2~ (稼働中)】

かほく市
 散水車 (給水機能付)【1/2~1/6 (稼働終了)】

富山市
 バックホウ【1/3~ (待機中)】
 照明車【1/5~ (待機中)】
 Ku-sat可搬【1/5~ (待機中)】
 待機支援車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/5 (稼働終了)】

金沢市
 照明車【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付)【1/3~1/7 (稼働終了)】

照明車 (電源支援) 珠州市避難所



対策本部車 珠州市役所 (稼働中)



上越市
 照明車【1/3~ (稼働中)】
 バックホウ【1/4~ (待機中)】

Ku-sat (渋滞監視) 七尾市



照明車 (電源確保) 輪島市 諸岡公民館
 (家電製品 (スマートフォン) に電力供給)



照明車 輪島市 夜間照明



衛星通信車 穴水町役場



散水車 (給水機能付) 中能登町ほか

